

# あなたもチャレンジ! 家庭菜園 ミズナ(特約カ)

ミズナ(水菜)は古くから京都で栽培されていたツケナの一種で、キョウナ(京菜)とも呼ばれます。

葉の形が細く、切れ込みの多い菜類ですが、柳の葉のような丸葉に分化したのが壬生菜です。

本来は、大株にして水炊き、すき焼き、漬物に利用しますが、最近は大株取りして、サラダとして人気の高い野菜となっています。

## 小株から大株まで楽しむ

### 【栽培時期】

小株取りでは、冬を除き種まきが出来、夏まきは30日程度、春秋まきは40~60日で収穫になります。大株取りでは8月下旬~9月中旬に種まきし、12~3月に収穫します。

### 【品 種】

葉の幅が狭く葉数の多いサラダ用の「京みぞれ」(タキイ種苗)、「京すだれ」(丸種)は茎が白く、シャキシャキした食感の品種です。

大株取りでは「晩生白茎干筋京水菜」(タキイ種苗)などが良いでしょう。

### 【土作り】

幅100~120cmのベッドを作り、1㎡当たり堆肥1kg、苦土石灰100gと化成肥料(NPK各成分10%)100gを全面に施し、土とよく混ぜておきます。

### 【種まき】

小株取りではじかまきとし、ベッドに幅20cm間隔の種まき溝を作り、およそ1cm間隔に筋まきします(図1)。

種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護すると良いでしょう。

大株取りでは移植栽培とし、セルトレイや小型ポットに4~5粒まき(図2)、間引きして本葉5~6枚の苗を作り、条間30cm、株間30cmに植え付けます。

### 【管 理】

小株取りでは本葉が出て込み合ってきたら、適宜間引きを行い、最終的には5cmくらいにします(図3)。

大株取りでは、種まきの1ヵ月後と2ヵ月後に化成肥料で、それぞれ1株5g程度の追肥をします。

### 【病害虫の防除】

アブラムシは、サンクリスタル乳剤など、アオムシ、コナガにはトアロー水和剤CTなど環境に優しい農薬で防除します。

### 【収 穫】

小株取りでは葉の長さが25~30cmくらいが収穫適期です。一部を収穫し、株間15~30cmとなるように株を残し、中~大株取りにしても良いでしょう。

大株取りでは、1kgくらいから収穫を始めます(図4)。

図1 種まき

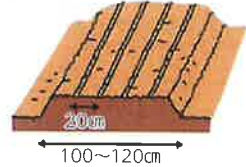


図2 苗作り



図3 間引き

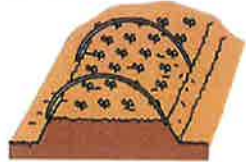


図4 収穫

